東日本大震災被災地応援実行委員会たより

轍 わだち

2011，4，28　NO15

学用品は不足、ノート高学年用、低学年用、鉛筆、消しゴム、下敷き、ふで箱

石巻中学校の境直彦校長先生より、「平安女学院からの支援物資の学用品は、責任をもって被災した学校に配布するための拠点になる。」とおっしゃって下さいました。先生からは文房具の不足が学校を開催しても大変だとのことでした。石巻中学校は高台にあるために被災者は１３人ですが、無くなった学校や焼けた学校の生徒らは、残った学校に移っての勉強を行っているとのことです。

まだまだ足りません！学用品持ってきて下さい！

物資は足りているという報道がありますが、今現地にいる方からの情報をもとに私たちは支援物資を集めています。まだ協力しようと言う人は明日の休日に準備して土曜日には持ってきて下さい。

オリジナルタオル完成しました！めちゃかわいい！

みんな買って「募金」に協力してね！　土曜日に販売します！

被災地訪問報告　　その９

重機がない中での、がれきの撤去はできるものではない。どんなに頑丈な手袋をして大変だ。僅かなスコップでは、ヘドロのかき出し作業ははかどるはずがない。それでもボランティアの人たちが、現場に向かう準備をしていた。新学期の開始が延期されていた気仙沼高の野球部員たちが、自転車をこぎ何㎞も先にある現地に向かう後姿が眩しかった。甲子園では球児たちが夢を追いかけているその日、同じ球児ががれきとヘドロに立ち向かっていく。

本日の実行委員会は、４．３０企画の最終打ち合わせです。放課後２４４教室に集合して下さい。
当日役割分担します。支援物資の種分けします。支援物資を運び出します。
明日、祝日１１：３０～準備を助けてくれる人を募ります。

東日本大震災 被災3県

死亡・不明 小中高生536人

大半は下校後被害

東日本大震災で死亡・行方不明となった国公私立の小中高の児童生徒数が計536人に上ることが27日、分かった。亡くなったのは378人、行方不明になっているのは158人で、死者・行方不明者が出たのは岩手、宮城、福島の3県。

3県の教育委員会によると、死亡した児童生徒のほとんどは、下校途中や下校後に自宅などで津波に遭遇。担当者や学校関係者は「校内に残って上階に避難した学校で、被害を免れるケースが多かった。地震が1時間遅ければ、子どもの被害は大幅に増えた可能性が高い」と指摘している。

死亡は宮城273人、福島59人、岩手46人で行方不明は宮城74人、岩手52人、福島32人。亡くなった児童生徒は宮城県が全体の7割以上を占めている。3県の学齢別は小学生234人、中学生111人、高校生191人。

宮城県東松島市では小学生18人、中学生6人が死亡。市教委によると、死亡したのは地震発生直後に保護者の迎えで下校した生徒や、短縮授業の期間で下校した低学年の児童だった。

3県の教委によると、地震があった3月11日午後2時46分は、卒業式やその準備で児童生徒が下校後の学校もあったが、授業や帰りの準備で在校中の学校が多かった。岩手県教委は「地震があと1時間遅ければ、多くの児童生徒が下校して犠牲者が増えた可能性がある」としている。

警察庁によると、今月11日までに検視を終えた3県の遺体のうち92%は水死で、逃げ遅れなどで津波に巻き込まれたとみられる。年齢が確認された人のうち60歳以上が65%を占め、10代までは4%以下だった。大年邦雄高知大教授(防災水工学)は「鉄筋コンクリート2~3階建ての校舎が多い学校は、同じ立地条件でも木造民家より安全だ」と分析した。

東日本大震災で死亡・行方不明となった児童生徒数

単位:人

		小学生	中学生	高校生	合計	
死亡	岩手	13	12	21	46	536
	宮城	149	59	65	273	
	福島	23	12	24	59	
	合計	185	83	110	378	
行方不明	岩手	8	4	40	52	
	宮城	34	17	23	74	
	福島	7	7	18	32	
	合計	49	28	81	158	

「あと10分遅ければ津波に…」

下校直前 校舎に避難

ある小学校では、低学年の児童が帰りの会を始めていた。集団下校のため子どもたちが廊下に並んでいた学校もあった。3月11日午後2時46分。地震が起きた時間は、各地の小学校でまさに下校が始まる時間帯だった。津波で壊滅的な被害を受けた岩手県陸前高田市の小学校の副校長は「あと10分、地震の発生が遅ければ、多くの子どもたちが下校し津波の犠牲になっていただろう」と指摘している。同校は高学年が5時間目の授業中で、低学年は帰りの会を始めていた。揺れが収まり、校庭で点呼。津波が襲ってきた時には、校舎の上階に逃げた。水は1階まで入ってきたが、学校は無事だった。

副校長は「もし子どもが帰った後だったらと考えると恐ろしい。全員が校内にいたのは幸いだった」と当時を振り返る。

小学生より帰宅時間が早い幼稚園児が、津波に巻き込まれるケースも相次いだ。幼稚園児64人が死亡した宮城県。石巻市の私立幼稚園では帰りのバスが流されて園児8人が死亡。山元町の私立幼稚園では、避難しようとバスに乗り込む際に津波に遭遇し、園児5人が死亡した。いずれも建物は半壊程度で、園舎にいる時間であれば助かった可能性があったという。